



第9回 中部歴史まちづくりサミットin名古屋



- 令和6年1月30日、名古屋市内において、中部地方整備局と名古屋市との共催により、「歴史まちづくりサミット」を開催。一般参加者、行政関係者合わせて**約200名**が参加。
- 第9回目となる今回のサミットは、歴史まちづくり法に基づく歴史的風致維持向上計画の認定を受けた**18都市の首長等が一堂に会し**、伝統的祭礼の継承の危機など、顕在化する新たな課題に対する各都市の取組事例を発表。
- 認定都市一同で、時代の変化に柔軟に対応し「不易流行」の理念を携えて歴史まちづくりを進めることを宣言。

【概要】

開会挨拶



河村 たかし
名古屋市長



佐藤 寿延
中部地方整備局長

基調講演

「地域における歴史的風致の維持及び向上」



松本 直司 氏
名古屋工業大学 名誉教授



事例発表

テーマ **変わらない価値を守るため
新たな視点で取り組む歴史まちづくり**

- 第1部 多様な人々が参画する歴史まちづくり
- 第2部 歴史・伝統を守るための支援
- 第3部 明治～昭和の歴史遺産の保存・活用



▲ 各都市の取り組みを首長等が自らが発表

- ・名古屋市は、江戸時代は尾張徳川家の城下町、近代以降は経済産業の一大拠点として発展した、重層的で多様な歴史を持ち、これらを背景に多くの歴史的な資源が残されている。
- ・これらの歴史的な資源の保存・活用のための取組について紹介。



松雄 俊憲
名古屋市長

記念撮影

